



多摩キャンパスは、新緑と花々で

初夏を迎えつつあります

本年は、四年前の震災の慌ただしい中で入学してきた学生たちを、三月二十五日に卒業式にて、復興支援ソング「花は咲く」で送り出しました。そして、四月二日には満開の桜の下で入学式を挙行し経済学部では今年も約一千名の新入生を迎えました。

満開だったツツジはすでに終わりましたが初夏に向かい色々な花々が咲き始めキャンパスを一層魅力的にしております。

現在、すでに学内の授業やイベントなども順調に進んでおり、新入生もキャンパスの施設や環境にも慣れ学業に励んでおります。

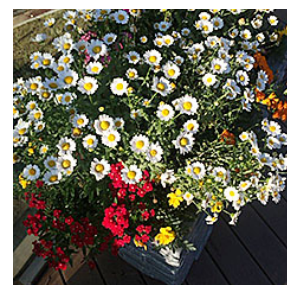
さて、本年も下段のご案内のように今年も定期総会を開催いたします。

この機会に是非、母校をお訪ね頂き、楽しいひと時をお過ごし下さい。学部の後輩に接することにより、今後の皆様の心の支えとなることを念じております。

なお、定期総会での報告、審議内容につきまして予め二面、三面でご紹介させていただきますいております。



～ 多摩キャンパス 風景 ～



第25回 白門経友会 定期総会のご案内

- | | |
|---|--|
| <p>1. 日時 6月13日(土) 午後2時開会
(本年より6月第2土曜日を定例とさせていただきます)</p> <p>2. 会場 中央大学多摩キャンパス
7号館1階 7104教室</p> <p>3. 定期総会 14:00 - 14:30</p> <p>① 平成26年度事業報告</p> <p>② 平成27年度事業計画・予算案</p> <p>③ その他</p> | <p>4. 記念講演 14:40 - 16:10
講師 片桐 正俊 教授
演題 アベノミクスと税財政改革</p> <p>5. 懇親会 16:30 - 18:30
会場 生協ふらっと
会費 OB(卒業5年以上) 10,000円
OB(卒業5年未満) 3,000円
現役学生 1,000円</p> |
|---|--|

- ・会費は、当日受付にて集金させていただきますのでよろしくお願いいたします。
- ・懇親会では、本学音楽研究会吹奏楽部により金管楽器の五重奏が演奏されます。
- ・役員の方は当日13:00より幹事会を開催しますので同時刻までに会場にご参集下さい。

第一号議案 二〇一四年度活動報告

I 会議

一 二〇一四年度定期総会

日時 二〇一四年(平成二十六年) 六月七日(土) 十四時

場所 中央大学多摩キャンパス 七号館 七一〇三号室

議案

第一号議案

二〇一三年度活動報告及び決算報告

第二号議案

二〇一四年度活動計画及び予算案

第三号議案

その他報告事項

以上、原案通り可決されました。引き続き、緒方俊雄教授により「アジアの経済回廊とグリーン経済」という演題で講演して頂きました。ついで会場を生協二階「ふらっと」に移し懇親会を開催いたしました。

二 幹事会

① 二〇一四年六月二日(土)第二十四回 総会の議案を審議、承認。

② 二〇一四年十一月二十七日常任幹事会 を拡大して諸行事を承認。

三 常任幹事会

① 二〇一四年四月二日(水)

② 二〇一四年五月二十八日(水)

③ 二〇一四年七月九日(水)

④ 二〇一四年九月二十六日(金)

⑤ 二〇一四年十一月十四日(金)

⑥ 二〇一四年十一月二七日(木)

⑦ 二〇一五年二月十八日(水)

⑧ 二〇一五年三月十九日(木)

⑨ 二〇一五年三月二十五日(火)

II 行事

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力

当年度も鳥居伸好教授のもと二〇一四年四月から七月までの期間で全十五回のキャリアデザイン

の授業が行われ白門経友会から齋藤顧問、風間幹事長に加えて外部からの有識者により学外授業特別協力者として講義を行って

いただき前年度同様、好評を得ました。

最終の講義終了後七月二十二日には鳥居教授を中心に協力された講師と学生を交え懇談会を実施しました。

二 新規講演会の実施

二〇一四年十一月十四日(金)十六時四十分より七一〇二教室で高梨明宏常任幹事を講師として「心と頭の良くなるお話し」をテーマに学生への学習意欲向上に繋がる講演会を開催いたしました。

三 経和会懇親会に参加

二〇一五年三月五日(木)に退職される先生方の歓送を含めた経済学部教員の親睦会である「経和会懇談会」に招待され白門経友会の常任幹事も参加いたしました。

IV 学生への呼びかけ

経済学部ゼミナール連合会、キャリアガイダンス学生運営委員会、各ゼミ学生との交流をを広げるために常任幹事会、諸行事への参加を呼び掛けました。

II 行事

新入生歓迎・第二十四回定期総会案内等 第五十五号二〇一四年八月三十一日発行

定期総会の報告、ゼミ活動報告 第五十六号二〇一四年十二月一日発行

海外インターシップ等新設科目紹介 第五十七号二〇一五年三月二十日発行

退職教員紹介、中央大学「夢」企画 当年度期間中に従来より発行回数を増やし、計四回発行しました。

III 会報発行

経済学部ゼミナール連合会、キャリアガイダンス学生運営委員会、各ゼミ学生との交流をを広げるために常任幹事会、諸行事への参加を呼び掛けました。

II 行事

学部授業「キャリアデザイン」への協力 学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。

二 学部行事「キャリアガイダンス等」への協力担当する学生委員会及び学生運営委員会等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

三 中央大学「夢」企画における諸活動への支援協力を行う。

四 白門経友会二十五周年目を迎え会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める 行事を行う。

III 会報発行

「白門経友会」を年四回発行する。なお、前年度より原則として紙ベースでの発行を取りやめ、ホームページへの掲載とする。

IV その他

一 白門経友会ホームページの内容の充実化として学生からの投稿を進める

二 多数が参加可能な講演等の開催

三 入会呼びかけの強化

III 会報の発行と主要記事

第五十四号二〇一四年五月二十日発行

一 学部授業「キャリアデザイン」への協力

学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。

二 学部行事「キャリアガイダンス等」への協力担当する学生委員会及び学生運営委員会等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

三 中央大学「夢」企画における諸活動への支援協力を行う。

四 白門経友会二十五周年目を迎え会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める 行事を行う。

II 行事

新入生歓迎・第二十四回定期総会案内等 第五十五号二〇一四年八月三十一日発行

定期総会の報告、ゼミ活動報告 第五十六号二〇一四年十二月一日発行

海外インターシップ等新設科目紹介 第五十七号二〇一五年三月二十日発行

退職教員紹介、中央大学「夢」企画 当年度期間中に従来より発行回数を増やし、計四回発行しました。

III 会報発行

経済学部ゼミナール連合会、キャリアガイダンス学生運営委員会、各ゼミ学生との交流をを広げるために常任幹事会、諸行事への参加を呼び掛けました。

II 行事

学部授業「キャリアデザイン」への協力 学外および会員からの講師の推薦を経友会として協力支援する。

二 学部行事「キャリアガイダンス等」への協力担当する学生委員会及び学生運営委員会等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

三 中央大学「夢」企画

における諸活動への支援協力を行う。

四 白門経友会二十五周年目を迎え会員同士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める 行事を行う。

III 会報発行

「白門経友会」を年四回発行する。なお、前年度より原則として紙ベースでの発行を取りやめ、ホームページへの掲載とする。

IV その他

一 白門経友会ホームページの内容の充実化として学生からの投稿を進める

二 多数が参加可能な講演等の開催

三 入会呼びかけの強化



第1号議案(2)

2014年度 決算報告書

自 2014年 4月 1日
至 2015年 3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	164,093	総会費	120,000
会費収入	303,000	会報発行費用	76,008
総会費収入	110,000	交流費	20,000
寄付金収入	60,000	事務通信費	0
受取利息	14	振込手数料	10,392
雑収入	38	会議費	0
		雑費	30,000
		次年度繰越金	380,745
合計	637,145	合計	637,145

(注)次年度繰越金の内訳

(株)三井住友銀行八王子支店	普通預金	45,854
(株)ゆうちょ銀行	振替貯金	309,097
(株)ゆうちょ銀行	通常貯金	25,794
現金		0
合計		380,745

以上の通りご報告申し上げます。

2015年 月 日

会長 谷口洋志 印

幹事長 風間俊範 印

監査の結果、いずれも正確かつ妥当であることを認めます。

2015年 月 日

監事 前島一夫 印

監事 森元公和 印

第2号議案(2)

2015年度予算案

自 2015年4月 1日
至 2016年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	380,745	総会費	120,000
会費収入	300,000	会報発行費用	100,000
総会費収入	150,000	HP維持費	20,000
寄付金収入(学員会補助金)	50,000	交流費	300,000
受取利息	100	振込手数料	10,000
		小計	550,000
		次年度繰越金	330,845
合計	880,845	合計	880,845

感謝の恵み

二〇一〇年卒 局 芳暁

【始めに】

この記事を書いている日は五月十日、母の日です。皆さんは、母の日に感謝の思いを母親に告げましたでしょうか？ 母の日とは、その成り立ちを見ると、ある女性が亡くなった母親への感謝の意を表したことから始まります。

教会学校の教師をしていた彼女の母親は、日々モーセの十戒に記してある「汝の父母を敬え」という言葉を教えていたそうです。彼女は、母親が存命している時は、その言葉に大きな価値を置いていたかったようですが、亡くなってから、その願いを叶えようと、母の日の制定を嘆願しました。そうして、教会学校から始まって、日本へとその記念日が広まってきたのです。

【感謝は共通語】

さて、夢企画ではたくさん生徒やOBOGにインタビューをしています。その中で皆さんが共通しておっしゃることが「感謝」です。あの方に会ったから今の自分がある。あの時にこの言葉をかけてくれたから今の自分がある。皆さんこのようにおっしゃいます。例えば最近のインタビューではこんなことをおっしゃって頂きました。

「大学のウェルカムパーティーに参加した際に、前に座っていた先輩がもの凄く魅力的

だった。大学生というものに対する観点が変わったし、後輩にも伝えていかなければならないと思った。」何かを始めたい、何かを伝えたいと思うとき、そのきっかけには必ず「感謝」があるのだと感じます。

【感謝を感じる習慣】

何かを行おうと努力している人の裏には必ず「感謝」があります。そして、その「感謝」の大きさに比例して、やっていることも大きくなります。ある人は、中央大学に感謝をしています。そうすると、中央大学をよりよくしたいと思いい、行動をします。ある人は、日本の教育に感謝をしています。その方は日本の教育をよりよくしたいと思つて行動します。彼らには、感謝を行動にする習慣があります。感謝を行動に表わすと、また感謝を感じるようになっていくのです。そうして次第にその感謝は大きくなっていき、その行動も大きくなっていきます。

【感謝のきっかけ】

また一つ、インタビューから共通点が見いだせます。それは感謝のきっかけです。考えてみてください。生まれた時から、感謝をしている赤ちゃんはいないでしょうか？ 生まれた瞬間から、お母さんありがとうと泣いている赤ちゃんなどいません。必ず、感謝をするにはきっかけがあつて、それは、何かしら辛い思いだったり、悔しい思いだったり、壁にぶつかっている時に感じ取るものなのです。ある弁護士の方はこう言いました。

「このまま学生生活が単調に進んで行つてしまつていいのだろうか。どうやったらもつと人の為、世の為になることができるのだろうか。そう考えていたときに、ある一人の弁護士の方が与えてくれた言葉に感銘を受け、弁護士を目指そうと決心しました。」

聖書の言葉にこんな言葉があります。「心の貧しいものは幸いである。天国はあなたがたのものである。」これは命が無くなった後のことを考えようという言葉ではなく、自分の足りなさを知つてこそ、あらゆるものに感謝もできるし、喜べるようになるという言葉です。感謝のきっかけは、こういった「心の貧しさ」にあるのだろうかと感じます。

【現実を知つてこそ】

さらに彼らには共通点があります。それは、現実を知つたことがきっかけになっている点です。あるNPOに在籍している方が、入るに至つた経緯を聞かせてくださいました。

「一般の企業に就職活動をしました。でも、その中で何か物足りなさや、このまま就職してもつまらないだろうなということを知ることがなつて、大学院に進んでもっと自分を探すことに専念して、その後NPOに進むようになったのです。」

今、何か夢ややりたいことを見つけるには、まず現実を知ることからなのだと感じています。現実とは何でしょうか？ 今、日本の経済はどのような状態でしょうか？ 家庭はどのような状況でしょうか？ 自分自身はどの

ような状態でしょうか？ これを深く見つめることから夢が見つかるのではないのでしょうか。

【終わりに】

大学では様々な現実を知ることができます。理想論だけではなく、現実問題を通して様々な刺激を与えてくれる場所です。

私たちが夢企画では、大学に通う意義から学生に知つてもらおうと日々奮闘しています。中央大学だけでなく、東京西地域にある大学が感謝で満ち溢れることを願っています。

編集後記

本学部一〇〇周年を祝つたのはついこの前のように思つていましたが、今年にはや一〇〇周年です。小さな区切りかもしれませんが、今回の総会が、OB、現役学生、教職員三者が集つて、経済学部の過去を振り返り未来を語る場となればと願つております。ぜひ皆様ご参加くださいますようお願いいたします。(常任幹事 濱岡 剛)

2015年5月25日 第58号

発行 白門経友会常任幹事会
編集 白門経友会編集委員会
編集長 鈴木 秀男
〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1
中央大学経済学部内
URL : www.wg-keiyukai.com
Fax : 042-673-3425